

神奈川県微生物検査情報

<http://www.eiken.pref.kanagawa.jp/>

神奈川県衛生研究所

第 142 号

(2004年10月)

平成 16 年 12 月 21 日発行

速報：ノロウイルスによる食中毒様胃腸炎の発生

ヒト由来細菌情報

依頼検便からサルモネラ、食中毒事例からカンピロバクターが検出された。

食品由来細菌情報

有症苦情事例の食品から黄色ブドウ球菌が検出された。

環境由来細菌情報

河川水腸管系病原菌調査から 01 & 0139 以外のコレラ菌およびサルモネラが検出された。
浴槽水の検査からレジオネラが検出された。

集団発生情報

焼肉レストランで喫食した所管外の発症グループからカンピロバクターが検出され、同店で食事した従業員からも検出されたため食中毒と決定された。県域での発症者は従業員のみであった。

神奈川県域の幼稚園で食中毒様胃腸炎が 1 事例発生した。食品 2 検体および便 81 検体について遺伝子検出法で検査したところ、職員、患者およびその家族の便 27 検体からノロウイルスが検出された。この事例は、疫学調査の結果ノロウイルスによる感染症であった。

ウイルス情報

手足口病患者から、コクサッキーウイルス A16 型が分離された。
咽頭結膜熱患者からアデノウイルス 3 型が分離された。

(微生物部・地域調査部)

ノロウイルスによる食中毒様胃腸炎の発生

ノロウイルスを主要な病原体とするウイルス性胃腸炎は冬季に流行する胃腸炎であることが知られていますが、2004年8月に、神奈川県では夏季に初めてノロウイルスを原因とした食中毒様胃腸炎の発生がありました。

冬季に向かい、表に示すように食中毒様胃腸炎は11月2件、12月8件の発生があり、その中で11月2件、12月3件の事例でノロウイルスが検出されました。

ウイルス性食中毒疑い事例件数及びその結果（平成16年）

	ウイルス性食中毒疑い事例(件数)	ノロウイルス検出事例(件数)
1月	1	1
2月	3	3(2)
3月	5	3
4月	8	2
5月	2	0
6月	2	1
8月	1	1
9月	1	0
10月	2	1(1)
11月	2	1
12月	8	3
計	35	12

()内 感染症事例件数

(メモ)

食中毒病因物質として届けられているSRSVは、ほとんどがPCRでノロウイルスを検出していることから、2003年8月29日に食品衛生法の一部改正が施行されたのに伴い、病因物質の「SRSV」が「ノロウイルス」に改められた。ちなみに、ノロウイルス以外のSRSVは、「その他のウイルス」に分類されることになった。

従来、ウイルス検出は電子顕微鏡による形態観察に頼っており、「小型球形ウイルス(SRSV)」と呼ばれていた。しかし、近年、SRSV遺伝子の解析が大きく進み、主としてカリシウイルス科に属する2種類のウイルスであることがわかった。それらの属名として暫定的に用いられた「ノーウォーク様ウイルス」を「ノロウイルス」と、「サッポロ様ウイルス」を「サポウイルス」とすることが2002年国際ウイルス学会で承認された。ノロウイルスは、現時点では二つのgenogroup(G と G)に分類され、それぞれに多数のgenotypeが存在する。

感染性胃腸炎患者からの病因物質検出例の最近の動向

国立感染症研究所・感染症情報センターでは、病原体定点等の医療機関の胃腸炎の患者より採取された便検体あるいは食中毒の患者から、全国の地方衛生研究所で検出された SRSV*、ロタウイルスなどの病原体情報の報告を受け、その報告数の推移を比較している。

年末の患者の増加は SRSV 検出報告数の増加と対応しており、年明け以降の患者数の推移は、ロタウイルス検出報告数の推移とよく類似していた。近年の報告数の推移は、毎年ほぼ同様な推移をしていることから、冬季の感染性胃腸炎患者から検出される病原体は、シーズンの最初は SRSV、その後 SRSV とロタウイルスの混合という形で年の変わり目で変化していることが示されている。この情報に関する詳細のグラフについては、感染症研究所ホームページ (<http://idsc.nih.go.jp/iasr/prompt/graph/sr5j.gif>) を参照してください。

SRSV* ; 検出方法と検査結果に応じて、“ SRSV ” (電顕のみの検出)

“ ノロウイルス genogroup 不明 ”、 “ ノロウイルス genogroup ”、

“ ノロウイルス genogroup ”、 “ サポウイルス ” のいずれかで報告されている。

(企画情報部・微生物部)

表1 ヒト由来検査件数及び病原菌検出状況(検査材料取扱い機関別)

(平成16年10月)

	平塚保健所	鎌倉保健所	藤沢保健所	小田原保健所	茅ヶ崎保健所	三崎保健所	秦野保健所	厚木保健所	大和保健所	足柄上保健所	津久井保健所	小計	衛生研究所	合計
取り扱い検査件数	489	285	550	1825	163	91	237	188	102	181	97	4208	29	4237
サルモネラ O9群				1								1		1
カンピロバクター ジェジュニー							1					1		1

平成16年10月、ヒト由来の検体4,237件を検査した。

秦野保健所管内でバイキング様式の焼肉レストランで喫食した川崎市管内の発症グループからカンピロバクター ジェジュニーが検出され、同店で食事をした従業員1名からも同菌が検出されたため、秦野保健所が食中毒と決定した事例であった。県域での発症者は従業員のみであった。

小田原保健所で依頼検便からサルモネラO9群(血清型Enteritidis)が1件検出された。

表2 食品由来検査件数及び病原菌検出状況(検査材料取扱い機関別)

(平成16年10月)

	平塚保健所	鎌倉保健所	藤沢保健所	小田原保健所	茅ヶ崎保健所	三崎保健所	秦野保健所	厚木保健所	大和保健所	足柄上保健所	津久井保健所	小計	衛生研究所	合計
取り扱い検査件数	7	6	24	25	17		11	5	25	6		126	29	155
黄色ブドウ球菌	1											1		1

平成16年10月、食品由来の検体155件を検査し、平塚保健所管内の有症苦情事例から黄色ブドウ球菌(エンテロトキシンB型)1件が検出された。

表3 環境由来検査件数及び病原菌検出状況(検査材料取扱い機関別)

(平成16年10月)

	平塚保健所	鎌倉保健所	藤沢保健所	小田原保健所	茅ヶ崎保健所	三崎保健所	秦野保健所	厚木保健所	大和保健所	足柄上保健所	津久井保健所	小計	衛生研究所	合計
取り扱い検査件数		10	7	19		6	16	12		29	12	111	29	140
サルモネラ O4群													1	1
サルモネラ O3,10群													1	1
サルモネラ 型別不能													1	1
O1 & O139以外のコレラ菌													8	8
レジオネラ ニューモフィラ 1群										3	2	5		5
レジオネラ ニューモフィラ 4群				1								1		1
レジオネラ ニューモフィラ 5群				2				1		2		5		5
レジオネラ ニューモフィラ 6群								1		3	1	5		5
レジオネラ ニューモフィラ 型別不能				2						1		3		3

平成16年10月、県内10定点の河川水腸管系病原菌調査から、O1 & O139以外のコレラ菌8件、サルモネラO4群1件(血清型Typhimurium)、O3,10群1件(血清型London)、型別不能1件が検出された。

浴槽水から16件(小田原保健所5件、厚木保健所1件、足柄上保健所7件、津久井保健所3件)レジオネラが検出された。その内訳はレジオネラ ニューモフィラ血清型1群(4件)、5群(4件)、6群(2件)、4群(1件)、型別不能(2件)、同一検体から同時検出された血清型は1群,6群と5群,6群および6群,型別不能(各々1件)であった。

表4 ウイルス検出状況(月別)

(平成16年11月30日現在検出分)

検出ウイルス	月	平成 15 年 計	1 月	2 月	3 月	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	1 0 月	平成 16 年 累 計
インフルエンザ A H 3		92	107	48	4								159
インフルエンザ B		27	1	2									3
パラインフルエンザ 3									1				1
コクサッキー A 2									3				3
コクサッキー A 4		5							4	1			5
コクサッキー A 6		1						2	1				3
コクサッキー A 9								1					1
コクサッキー A 1 0		8											
コクサッキー A 1 2		9							1				1
コクサッキー A 1 6									3	2		2	7
コクサッキー B 1		4								2			2
コクサッキー B 2		1											
コクサッキー B 4										1			1
コクサッキー B 5										1			1
エコー 6		1								1			1
エコー 1 4		1											
エコー 1 8					2	1		4					7
エンテロ 7 1		6											
ムンプス		2			1								1
アデノ 1		1											
アデノ 2									1				1
アデノ 3		1				1	1	3				1	6
アデノ 4		3											
アデノ 4 0 / 4 1								1					1
アデノ(型未決定)		1											
口 タ		10		1	2								3
小 型 球 形		25											
ノ 口		145	46	26	20	21		2		3		27	145
未 同 定		1							1	2			3
合 計		344	154	77	26	24	2	7	22	13	0	30	355

表5 ウイルス検出状況（疾患別）

（平成16年11月30日現在検出分）

疾患名 検出ウイルス	感 染 性 胃 腸 炎	手 足 口 病	ヘル パン ギー ナ	イン フル エン ザ 様	咽 頭 結 膜 熱	無 菌 性 髄 膜 炎	急 性 脳 炎	食 中 毒	そ の 他	合 計
取り扱い検査件数	81	2			1		2	1	2	89
コクサッキー A16		2								2
アデノ 3					1					1
ノロ	27									27

平成16年10月、県域の幼稚園で食中毒様胃腸炎が1事例発生した。食品2検体および便81検体について遺伝子検出法で検査したところ、職員、患者およびその家族の便27検体からノロウイルスが検出された。この事例は、疫学調査の結果ノロウイルスによる感染症であった。

発生動向調査の病原体検査定点からの依頼によるもの
手足口病患者の咽頭拭い液2検体から、コクサッキーウイルスA16型が2株分離された。
咽頭結膜熱患者の咽頭拭い液1検体からアデノウイルス3型が分離された。